

# 道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」 2年目の挑戦

問合せ先/産業振興課 (979-8173)

## ○1年半で200万人達成

平成29年5月1日にオープンした道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」は、1年間で130万人を超える利用者があり、初年度想定を上回るスタートとなりました。平成30年11月には利用者が200万人を超え、継続して多くの皆さまに利用していただいています。

### ◇事業運営について

この道の駅は、民間の資金とノウハウを活用し、民間主導による効率的かつ効果的な公共サービスの提供を目指し、PFI事業で実施しています。

事業者は、当該道の駅の事業計画から施設整備と15年間の維持管理・運営を行うため、この事業に特化した法人「いずもんかんなんみパートナーズ(株)」を組成し、特別目的会社として事業運営を行っています。

事業運営は、公共的施設に係る部分は、運営会社を指定管理者とし、指定管理料を支払うことで管理運営を行っています。また、物産販売所や飲食店など営業を目的とした施設は、定期建物賃貸借契約などをし、使用料を納付することで運営を行っています。

町は、業務内容、運営状況などの事業

契約書や管理運営に際して順守すべき業務要求水準書、事業提案書などに明記された内容が履行されているかを、審査・検証し業績監視を行っています。運営会社は、事業契約書や業務要求水準書などの内容を達成するため、商品開発やメニューの見直し、多彩なイベント企画などにより、誘客と収益増加に努めているところです。

### (1) 道の駅利用者数

年間想定69万人の利用に対し、上半期で既に74万5千人の利用があり、11月には200万人を達成しました。1年が経過し、施設の認知度が増したことや、多彩なイベント企画なども影響し、順調に利用者増加につながっています。

### オープンからの利用者数推移

月	H29	H30	増減
4月	-	113,058人	-
5月	156,168人	125,682人	△ 30,486人
6月	72,805人	88,609人	+ 15,804人
7月	76,037人	118,813人	+ 42,776人
8月	126,161人	187,619人	+ 61,358人
9月	100,948人	111,690人	△ 513人
10月	112,203人		
11月	127,093人		
12月	102,866人		
1月	103,151人		
2月	106,591人		
3月	130,402人		
計	1,214,555人	745,471人	

※平成30年9月までの利用者数確定値を掲載しています。

### (2) 物産販売所の運営状況

平成29年度は、オープン初年度であったこともあり、想定を上回る売り上げとなりました。2年目は更なる売り上げ向上を目指し、新商品の開発、販売促進につながるイベントの企画、定期的な朝市の開催、伊豆の特産品であるミカンや椎茸の詰め放題などの企画により、販売促進に努めています。

### 物産販売所 月ごと売り上げ状況

月	H29	H30	増減
4月	-	17,372,084円	-
5月	33,022,723円	17,551,123円	△ 15,471,600円
6月	18,232,577円	11,980,008円	△ 6,252,569円
7月	18,821,098円	16,576,450円	△ 2,244,648円
8月	27,714,443円	28,034,813円	+ 320,370円
9月	15,059,104円	15,313,779円	+ 254,675円
10月	14,125,681円		
11月	16,592,911円		
12月	13,736,227円		
1月	15,686,102円		
2月	15,201,876円		
3月	21,349,361円		
計	209,542,103円	106,828,257円	

※平成30年9月までの月ごとの売り上げ状況確定値を掲載しています。



コミュニティ広場で猫おどりイベントを開催

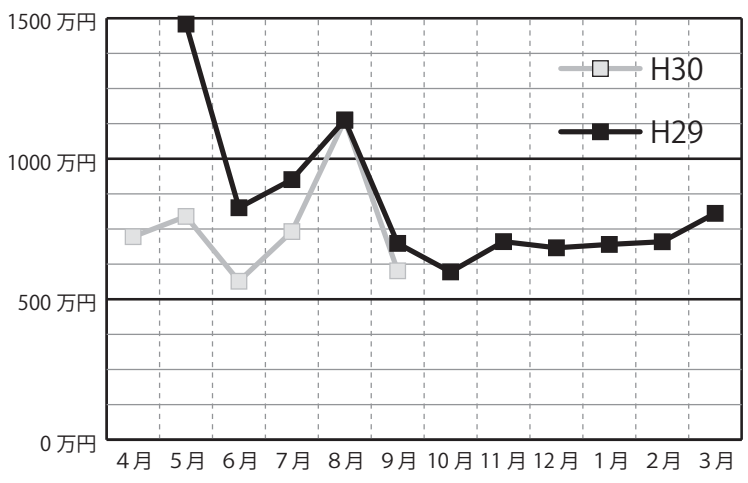


自由通路で函南スイカ祭りを開催

### (3) 飲食施設の運営状況

特色ある3つの飲食施設は、地元食材を利用し各々異なったメニュー提供により、売り上げ促進に努めています。2年目を迎え、季節ごとの旬な食材を使用したメニューやテイクアウトメニュー、ワンコインメニューなどの試行や営業時間の延長など周辺地域の人たちの利用を促すことも視野に入れ、売り上げ向上を目指しています。

### 飲食施設 月ごと売り上げ状況



### 町の使用料収入

	①物産販売所	②飲食施設	③自動販売機	合計
H29 上半期	6,829,095円	3,402,000円	247,070円	10,478,165円
H30 上半期	6,653,445円	4,082,400円	292,340円	11,028,185円
増減	△ 175,650円	+ 680,400円	+ 45,270円	+ 550,020円

- ① 物産販売所は、出荷者協議会、運営事業者の仕入品および生鮮品、加工品、保冷品などの区分により、各々売り上げに一定割合を乗じて計算した額の総額
- ② 飲食施設は、町内事業者 1,500円/㎡・月、町外事業者 2,000円/㎡・月で各施設の床面積に乗じて計算した額の総額 (H29は5月から9月の5か月分)
- ③ 自動販売機は、売り上げの10%相当額